

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツ科学センター備品整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 競技スポーツ課 ジュニアアスリート発掘・育成係

電話番号：058-297-7003

E-mail：c11173@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,220 千円（前年度予算額：51,847 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	51,847	0	0	0	0	0	0	0	51,847
要求額	10,220	0	0	0	0	0	0	0	10,220
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県スポーツ科学センター（GSSC）及び支所である御嶽濁河高地トレーニングセンターの機能向上・維持を図るため、測定用・トレーニング用機器の整備を行う。

(2) 事業内容

以下の備品を購入する。

- | | |
|---------------|----|
| ○データ解析用ソフトウェア | 1台 |
| ○高気圧酸素カプセル | 2台 |
| ○映像解析用パソコン | 3台 |
| ○ペダリングパワー測定器 | 2台 |
| ○水素吸入器 | 1台 |
| ○映像解析用タブレット端末 | 6台 |
| ○フラットベンチ | 1台 |
| ○ゲーム分析用パソコン | 2台 |

- ゲーム分析ソフト 2式
- 統計処理ソフトウェア 1式

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (県有施設の整備であるため)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	8,626	高気圧酸素カプセル、映像解析用パソコン、ペダリングパワー測定器、水素吸入器、映像解析用タブレット端末、フラットベンチ、ゲーム分析用パソコン
使用料	1,594	データ解析用ソフトウェア、ゲーム分析ソフト、統計処理ソフトウェア
合計	10,220	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の負担

岐阜県スポーツ科学センターの機能向上と維持を図るため、整備計画を基本とし、測定対象となるトップアスリート等のニーズを踏まえながら計画的に整備していく。

事業評価調査書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
岐阜県スポーツ科学センターの機能向上・維持のため、科学トレーニング計測にかかる測定備品について計画整備を行う。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
		(H)	(H)	(H)		%
		(H)	(H)	(H)		%

○指標を設定することができない場合の理由

令和3年度を目途に、科学トレーニング測定に必要な機器を整備・更新し、スポーツ科学センター機能の向上・維持を図ることとしているが、機器の状態により整備機器の変動が発生することから、目標設定は困難。

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
等速性筋力測定器をはじめ、測定機器の整備を行った。

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
等速性筋力測定器等の導入により、ジュニア層やトップアスリートの運動能力測定機能の向上が図られ、県のスポーツ科学トレーニング体制の拡充に寄与した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	岐阜県スポーツ科学センターにおける運動能力測定体制を、トップレベルで維持するため、最新機器の整備・更新は必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	最新機器の整備・更新により、最先端の運動能力測定機能の拡充が図られた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	備品購入は、劣化が進み運営に支障が出ている物等必要最小限とし、効率的に実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 現行機器は経年劣化により故障が多く、また機能の老朽化・陳腐化により、求められる機能を満たしていないため、整備・更新が必要となる。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降も、現在の規格に適合せず業務に支障がでるなど、現在の使用に堪えない物件に絞り、機器整備・更新を要求する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—